

1. 職名・氏名 教授 中谷 芳美2. 学位 学位 博士、専門分野 看護学、授与機関 名古屋大学、授与年月 2012年4月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 <b>公衆衛生看護学概論</b> （2単位 毎年開講） 2年生（2017年度～2019年度）
② 内容・ねらい 公衆衛生看護学の概念を諸外国の公衆衛生や公衆衛生看護の変遷、ヘルスプロモーション、健康の概念等も含めて概説し、人々の健康に影響する社会環境を踏まえて、現代社会が抱える広範囲かつ複雑な地域の健康課題に対応する公衆衛生看護活動の理念と公衆衛生看護活動の対象である個人・家族・グループ、組織・集団・地域の捉え方、活動の場と活動方法の特性を踏まえて、公衆衛生看護活動の今後の課題と保健所・市町村の保健師に求められる役割と専門性について理解を深める。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義は事例や視聴覚などを多く用い、公衆衛生看護学への知的関心を引き出ししながら、学生の理解や思考を促すことをめざしている。自分の意見を自分の言葉で他者に伝える、他者の意見を聞くという看護の基盤となる双方向のコミュニケーションを通して、公衆衛生看護学への興味・関心と主体的な学習態度を育むことを重視している。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 <b>保健指導論</b> （1単位 毎年開講） 2年生（2017年度～2019年度）
② 内容・ねらい 公衆衛生看護活動における保健指導の目的と対象、保健指導の歴史的変遷を概説し、地域で生活する個人・家族を支援するために必要な知識と理論、技術について概説し、個別保健指導における保健指導の基本的な姿勢と技術を学習する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義は事例や視聴覚、ロールプレイなどを多く用い、保健指導への知的関心を引き出ししながら、学生の理解や思考を促すことをめざしている。特に、保健指導の実際はロールプレイを通して保健指導の基本的な姿勢と技術、コミュニケーション能力を育むことを重視している。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 <b>公衆衛生看護活動論 I</b> （1単位 毎年開講） 2年生（2017年度～2019年度）
② 内容・ねらい 健康教育の定義と目的・目標、対象と場、基盤となる理論を概説し、健康教育の展開過程を教授する。地域組織活動の歴史と特徴、活用できる理論・方法論、グループの発展過程を概説し、住民と協働してグループ・地域組織の活動を支援し、地域ケアシステムの構築とネットワーク化を展開する保健師の役割について理解する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義は事例や視聴覚教材などを多く用い、公衆衛生看護活動への知的関心を引き出ししながら、学生の理解や思考を促すことをめざしている。授業は自分の意見を自分の言葉で他者に伝える、他者の意見を聞くという看護の基盤となるコミュニケーション能力・科学的思考能力を育むことを重視している。

<p>① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等  <b>公衆衛生看護活動論Ⅱ</b> (2単位 毎年開講) 3年生 (2017年度～2019年度)</p>
<p>② 内容・ねらい  地域で生活する個人や家族、特定集団、地域住民のライフステージ各期における健康問題・課題を解決する公衆衛生看護活動を展開するために必要な知識と展開方法を教授する。市町村と保健所における公衆衛生看護活動の実際と保健師の役割と機能について教授する。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫  講義は事例や視聴覚教材などを多く用い、公衆衛生看護活動への知的関心を引き出ししながら、学生の理解や思考を促すことをめざしている。事例に対する自己の学びや意見を発表しあうことで論理的思考能力を育むことを重視している。</p>
<p>① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等  <b>公衆衛生看護管理論</b> (1単位 毎年開講) 3年生 (2017年度～2019年度)</p>
<p>② 内容・ねらい  公衆衛生看護管理の目的と機能、情報管理、地域ケアの質の保証、組織運営と業務管理、予算管理、人事管理と人材育成、災害時の健康危機管理について理解し、公衆衛生看護管理における保健師の役割について理解を深める。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫  講義は事例や視聴覚教材などを多く用い、公衆衛生看護管理への知的関心を引き出ししながら、学生の理解や思考を促すことをめざしている。事例に対する自己の学びや意見を発表しあうことで論理的思考能力を育むことを重視している。</p>
<p>① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等  <b>公衆衛生看護技術Ⅰ (地域診断)</b> (1単位 毎年開講) 3年生後期集中講義 (2017～2019年度)</p>
<p>② 内容・ねらい  公衆衛生看護活動の基盤となる地域診断に必要な情報を収集し、地域の特性と健康指標をアセスメントした結果に基づいて健康課題を明らかにする能力を実習する市町の地域診断を通して教授する。実習する市町の地域診断に必要な情報を収集し、マップや図表を作成し、地域特性と健康課題をアセスメントした結果を記述する技術と能力を修得することを目標とする。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫  4年前期の実習市町ごとに3～5人の小グループに分かれて、地域診断に必要な地域特性の把握、健康指標のアセスメントをするために知識・技術を身につけられるようにきめ細かな指導を行う。また、実習グループメンバーと協力し、学生が主体的に取り組めるよう、かつグループダイナミクスが醸成できるように運営する。</p>
<p>① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等  <b>公衆衛生看護技術Ⅱ (個人・家族)</b> (1単位 毎年開講) 3年生後期集中講義(2017～2019年度)</p>
<p>② 内容・ねらい  地域で生活する個人・家族を支援するために必要な知識・技術と展開過程、態度について教授する。個人・家族への支援方法としての家庭訪問と乳幼児健康診査に必要な知識・技術、アセスメント能力、支援方法は演習を通して教授する。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫  講義は事例や視聴覚教材などを多く用い、個人・家族支援の展開過程と必要な技術を理解できるように、家庭訪問と乳幼児健康診査における問診・保健指導に必要な知識・技術、発育・発達などの個人・家族アセスメント能力、支援方法は、演習により学生自身が事例展開をする。</p>
<p>① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等  <b>公衆衛生看護技術Ⅲ (集団・組織)</b> (1単位 毎年開講) 3年生後期集中講義(2017～2019年度)</p>

<p>② 内容・ねらい</p> <p>地域で生活するグループ・集団を支援するために必要な知識・技術と方法、態度について教授する。集団への支援方法としての健康教育の展開過程については、対象者・地域の特性と対象者の発達段階・健康課題を把握・アセスメントし、支援の必要性（ニーズ）とその優先順位を明らかにする能力を修得する。さらに、アセスメントに基づき、健康教育の目的・目標を明確化し、計画書を作成する過程を通して、健康教育の企画に必要な能力を養う。通して教授する。</p> <p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <p>健康教育の展開は、4年前期の実習市町ごとに3～5人の小グループに分かれて、健康教育に必要な知識・技術を身につけられるように、グループメンバーと協力し、学生が主体的に取り組めるよう、かつグループダイナミクスが醸成できるように演習を行う。</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等</p> <p><b>産業保健論</b>（1単位 オムニバス 毎年開講） 3年生（2017年度～2019年度）</p> <p>② 内容・ねらい</p> <p>働く人を対象とする産業保健・看護の理念と歴史、活動原則から実践での進め方を学習する。実際の健康問題・課題に対してどのような活動が行われているかについて、特に、健康診断と事後措置、保健指導・健康教育、作業環境管理などの事例を通して産業保健師の役割を教授する。</p> <p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <p>講義は実際の産業看護活動の事例を通して、学生の知的関心を引き出しながら、産業看護への理解や思考を促すことをめざしている。グループワークや発表をおこなうことで、学生が主体的に産業看護活動への理解を深めていくことを重視している。</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等</p> <p><b>卒業研究</b>（3単位 毎年開講） 4年生（2017年度～2019年度）</p> <p>② 内容・ねらい</p> <p>看護学領域における健康問題や課題を自己の体験や文献検討をもとに明確にし、研究的プロセスを経て卒業研究としてまとめることを通して、科学的・論理的思考を養う。</p> <p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <p>学生の興味・関心、問題意識からテーマ・目的につながる過程を重視し、学生が主体的に意欲をもって取り組むことができるよう、学生個々の個性を考慮し、サポート内容、進め方を工夫した。</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等</p> <p><b>公衆衛生看護学実習Ⅰ</b>（2単位 毎年開講） 4年生（2018年度、2019年度）</p> <p>② 内容・ねらい</p> <p>実習する市町の地域診断を通して、地域特性と健康課題を把握する能力を養うとともに、健康課題を解決するために行われている公衆衛生看護活動について理解する。</p> <p>地域保健法に基づく広域的、専門的、技術的拠点としての保健所の役割と機能の実際を理解し、保健所内や管内市町の関係機関との連携・調整、他職種と協働しながら展開されている公衆衛生看護活動と保健師の役割について、実習体験を通して理解する。</p> <p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <p>実習目標と学生の主体的な自己目標に即した実習ができるよう、実習指導担当者との連絡・調整を密接に行うとともに、臨地での実習指導と実習指導者に参加していただく実習検討会をおこなっている。学生個々の学習状況を面接や自己評価の記入により把握し、講義・演習で学んだ知識・技術を実習の場面で統合させて考える事ができるよう、学習資料を作成・提供している。</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等</p> <p><b>公衆衛生看護学実習Ⅱ</b>（3単位 毎年開講） 4年生（2018年度、2019年度）</p>

② 内容・ねらい

市町を単位として受け持ち、個人・家族・特定集団・地域全体を視野に置いた公衆衛生看護活動を展開するために必要な能力を養う。特に、個別事例に対する訪問指導を行う家庭訪問や集団を対象とする健康教育、地域組織活動への支援、地域住民、関係機関や他職種との連携・調整の実際を通して、地域の健康課題に対する公衆衛生看護活動の展開方法と保健師の役割と専門性について理解する。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

実習目標と学生の主体的な自己目標に即した実習ができるよう、実習指導担当者との連絡・調整を密接に行うとともに、臨地での実習指導と実習指導者に参加していただく実習検討会、学内では実習施設間の学びを共有できるよう実習のまとめ・発表会をおこなっている。学生個々の学習状況を面接や自己評価の記入により把握し、講義・演習で学んだ知識・技術を実習の場面で統合させて考える事ができるよう、学習資料を作成・提供している。

① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等

**公衆衛生看護管理実習** (2 単位 毎年開講) 3・4 年生 (2017 年度)

② 内容・ねらい

実習する市町の地域診断を通して、地域特性と健康課題を把握する能力を養うとともに、健康課題を解決するために行われている公衆衛生看護活動について理解する。

地域保健法に基づく広域的、専門的、技術的拠点としての保健師の役割と機能の実際を理解し、保健所内や管内市町の関係機関との連携・調整、他職種と協働しながら展開されている公衆衛生看護活動と保健師の役割について、実習体験を通して理解する。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

実習目標と学生の主体的な自己目標に即した実習ができるよう、実習指導担当者との連絡・調整を密接に行うとともに、臨地での実習指導と実習指導者に参加していただく実習検討会をおこなっている。学生個々の学習状況を面接や自己評価の記入により把握し、講義・演習で学んだ知識・技術を実習の場面で統合させて考える事ができるよう、学習資料を作成・提供している。

① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等

**公衆衛生看護活動展開実習** (3 単位 毎年開講) 3・4 年生 (2017 年度)

② 内容・ねらい

市町を単位として受け持ち、個人・家族・特定集団・地域全体を視野に置いた公衆衛生看護活動を展開するために必要な能力を養う。特に、個別事例に対する訪問指導を行う家庭訪問や集団を対象とする健康教育、地域組織活動への支援、地域住民、関係機関や他職種との連携・調整の実際を通して、地域の健康課題に対する公衆衛生看護活動の展開方法と保健師の役割と専門性について理解する。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

実習目標と学生の主体的な自己目標に即した実習ができるよう、実習指導担当者との連絡・調整を密接に行うとともに、臨地での実習指導と実習指導者に参加していただく実習検討会、学内では実習施設間の学びを共有できるよう実習のまとめ・発表会をおこなっている。学生個々の学習状況を面接や自己評価の記入により把握し、講義・演習で学んだ知識・技術を実習の場面で統合させて考える事ができるよう、学習資料を作成・提供している。

① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等

**地域看護学特論** (4 単位) 大学院 1 年前期 (2017 年度～2019 年度)

② 内容・ねらい

地域で生活する生活者としての視点で、個人・家族・特定集団・地域全体を対象とした高度な地域看護活動の展開方法を学ぶ。地域看護活動の実践的な問題解決または改善の方策、地域看護学および関連の諸科学の理論を基盤においた実践結果の分析により、専門的な地域看護方法の開発と評価方法について探求する。

<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 地域看護学の主要なテーマ・関連文献ごとにディスカッションを行い、院生にもプレゼンテーションを課しながら、地域看護学の概念や論理的思考を深めることを重視している。</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 <b>地域看護学演習（2単位）</b> 大学院1年後期（2017年度～2019年度）</p>
<p>② 内容・ねらい 地域看護活動の実践に役立つ専門的な援助方法を身につけるとともに、各自の研究課題を中心とした研究方法論を学ぶ。個々の研究テーマに関する研究の動向に関する文献レビュー・クリティークを通して、研究計画書を作成する。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 院生の興味・関心、問題意識からテーマ・目的につながる過程を重視し、院生が主体的に意欲をもって取り組むことができるよう、出来る限り自己の研究テーマに沿って多くの論文を読むことを通して、文献レビュー・クリティーク・プレゼンテーションの方法と論理的・科学的思考力を身につけるよう工夫している。また、看護科学学会への参加を通して研究方法論への理解や研究への意欲を高めるよう配慮した。</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 <b>地域看護学特別研究（10単位）</b> 大学院2年通年（2017年度～2019年度）</p>
<p>② 内容・ねらい 研究計画書の作成からデータ収集、分析、論文作成までの研究過程を展開し、オリジナリティの高い研究論文を作成する事を目指す。特論、演習での学修内容を更に発展させ、現在の地域看護活動の質を向上させる上に役立つ課題に取り組み、研究論文を作成する。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 院生全員が社会人だったため、学生個々の都合に合わせて指導時間（夜間・土曜・日曜日）を設定するとともに、メールなどを活用して随時指導を行っている。</p>
<p>(2)非常勤講師担当科目</p>
<p>①担当科目名（単位数） 開講学校名 敦賀市立看護大学 <b>産業看護論（1/2単位：金沢医科大学 森河教授とのオムニバス）（2017年度）</b></p>
<p>②内容・ねらい 労働者の環境情報・健康情報から問題点を抽出し、適切な改善目標を立て、改善活動への支援ができるための知識を身につける。また、産業看護の理念・目的と制度・システムを踏まえ、事業所や労働衛生機関の産業現場における産業看護職の職務と役割、産業看護活動の実際について教授する。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義は実際の産業看護活動の事例を通して、学生の知的関心を引き出しながら、産業看護への理解や思考を促すことをめざしている。グループワークや発表をおこなうことで、学生が主体的に産業看護活動への理解を深めていくことを重視している。</p>
<p>④本学における業務との関連性 本学において担当している産業看護論の教育内容を教授している。</p>
<p>(3)その他の教育活動</p>

#### 4. 研究業績

<p>(1)研究業績の公表</p>
<p>①論文 ・ Relative importance of central and peripheral adiposities on cardiometabolic variables in females : A Japanese population-based Study. Katsuyasu Kouda, Namiraa Dongmei, Masayuki Iki, Etsuko Kajita, <u>Yoshimi Nakatani</u>, et al. Journal of Clinical Densitometry 20(1), 58-65, 2017.</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村保健師の専門能力の評価尺度の開発. 坂部敬子、<u>中谷芳美</u>. 福井県立大学論集,49,45-57,2017.</li> </ul>
<p>②著書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年版 保健師国家試験問題—解答と解説— (共著)、2017年、医学書院.</li> <li>・2019年版 保健師国家試験問題—解答と解説— (共著)、2018年、医学書院.</li> <li>・2020年版 保健師国家試験問題—解答と解説— (共著)、2019年、医学書院.</li> <li>・標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 (共著)、第4版. 担当 第1章「母子保健(親子保健)活動」、1-55、2018年、医学書院.</li> </ul>
<p>③学会報告等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で生活する高齢者による介護予防支援・生活支援の実施状況とソーシャル・キャピタルとの関連. 日本地域看護学会 第22回学術集会 (2019年8月18日)、<u>中谷芳美</u>、坂部敬子、梶田悦子.</li> <li>・介護予防を推進する地域包括ケアシステム構築に向けた課題—公助・共助の声から—. 第78回日本公衆衛生学会総会 (2019年10月24日)、坂部敬子、<u>中谷芳美</u>.</li> <li>・地域で生活する高齢者の健康づくり・介護予防のボランティア活動意欲と関連する要因. 第78回日本公衆衛生学会総会 (2019年10月24日)、<u>中谷芳美</u>、坂部敬子、梶田悦子.</li> <li>・高齢者の介護予防支援・生活支援の実施と保健事業利用・健康習慣の関連—ソーシャル・キャピタルを調整して—. 第39回日本看護科学学会学術集会 (2019年11月30日)、<u>中谷芳美</u>.</li> <li>・地域で暮らしている高齢者がその人らしい健康な生活を送るために実践していること—量的調査と質的調査の結果を統合した混合研究方法による考察—. 第8回日本公衆衛生看護学会学術集会 (2020年1月11日)、<u>中谷芳美</u>、坂部敬子.</li> <li>・介護予防を推進する地域包括ケアシステム構築に向けた現状と課題—互助グループへのインタビューから—. 日本地域看護学会 第21回学術集会 (2018年8月11日)、坂部敬子、<u>中谷芳美</u>.</li> <li>・介護予防を推進する地域包括ケアシステム構築に向けた地域在住高齢者の現状と課題. 第77回日本公衆衛生学会総会 (2018年10月25日)、坂部敬子、三好良子、<u>中谷芳美</u>.</li> <li>・地域で生活する高齢者のソーシャル・キャピタルと生活満足感との関連. 第38回日本看護科学学会学術集会 (2018年12月15日)、<u>中谷芳美</u>、坂部敬子.</li> <li>・地域で生活する高齢者の主観的健康感と保健事業の認知・利用・満足感、健康習慣との関連—ソーシャル・キャピタルを調整して—. 第7回日本公衆衛生看護学会学術集会 (2019年1月26日)、<u>中谷芳美</u>、坂部敬子.</li> <li>・介護予防を推進する地域包括ケアシステム構築に向けた課題—自助、互助、共助・公助へのフォーカス・グループ・インタビューを用いて—. 第7回日本公衆衛生看護学会学術集会 (2019年1月27日)、坂部敬子、<u>中谷芳美</u>.</li> </ul>
<p>④その他の公表実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>中谷芳美</u>. 福井県立大学看護福祉学部看護学科公衆衛生看護学領域研究室からのメッセージ. 保健師ジャーナル,73(7)、2017年、医学書院.</li> </ul>
<p>(2)学会活動等</p> <p>学会でのコメンテーター、司会活動 (担当報告名、担当学会(大会)名(開催年月日))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・座長：第45回北陸公衆衛生学会 (2017年11月10日)</li> <li>・座長：第78回日本公衆衛生学会 (2019年10月24日)</li> <li>・座長：第8回日本公衆衛生看護学会 (2020年1月11日)</li> </ul> <p>学会での役職など (学会名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員：北陸公衆衛生学会 (2017年度～2019年度)</li> </ul> <p>学会・分科会の開催運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般演題抄録査読：第39回日本看護科学学会学術集会 (2019年11月30日、12月1日)</li> <li>・一般演題抄録査読：第8回日本公衆衛生看護学会学術集会 (2020年1月11日～12日)</li> </ul>
<p>(3)研究会活動等</p>

<p>①その他の研究活動参加（参加研究会名、調査活動名（期間））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸ライフケアシステム研究会 委員 健やかな少子高齢社会の構築と社会と産業のイノベーションの展開に向け、北陸三県のICTを利用したライフケアシステムの社会実装に向けた検討を進めるため、産・官・学のメンバーからなる研究会（2017年度～2019年度）</li> </ul>
②その活動による成果
(4)外部資金・競争的資金獲得実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度科学研究費補助金（研究代表者：福井県立大学 中谷芳美） 基盤研究（C）介護予防を推進する地域包括ケアシステム構築をめざした公衆衛生看護活動と評価の方法 直接経費：500,000円、間接経費：150,000円 計 <u>650,000円</u></li> <li>・平成31年度科学研究費補助金（研究代表者：中京学院大学教授 梶田悦子） 基盤研究（B）10年の長期追跡研究に基づく男性骨粗鬆症予防効果の評価と看護モデルの構築 分担金：直接経費：100,000円、間接経費：30,000円 計 <u>130,000円</u></li> <li>・平成30年度科学研究費補助金（研究代表者：福井県立大学 中谷芳美） 基盤研究（C）介護予防を推進する地域包括ケアシステム構築をめざした公衆衛生看護活動と評価の方法 直接経費：300,000円、間接経費：90,000円 計 <u>390,000円</u></li> <li>・平成30年度科学研究費補助金（研究代表者：中京学院大学教授 梶田悦子） 基盤研究（B）10年の長期追跡研究に基づく男性骨粗鬆症予防効果の評価と看護モデルの構築 分担金：直接経費：300,000円、間接経費：90,000円 計 <u>390,000円</u></li> <li>・平成29年度科学研究費補助金（研究代表者：福井県立大学 中谷芳美） 基盤研究（C）介護予防を推進する地域包括ケアシステム構築をめざした公衆衛生看護活動と評価の方法 直接経費：2,800,000円、間接経費：840,000円 計 <u>3,640,000円</u></li> <li>・平成29年度科学研究費補助金（研究代表者：名古屋大学教授 梶田悦子） 基盤研究（B）大規模無作為集団の生活習慣病予防20年追跡から策定する実証的公衆衛生看護モデル 分担金：直接経費：150,000円、間接経費：45,000円 計 <u>195,000円</u></li> </ul>
(5)特許出願

## 5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
<p>①国・地方公共団体等の委員会・審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・永平寺町介護保険運営協議会 会長 2017年度～2019年度</li> <li>・永平寺町地域包括支援センター運営協議会 会長 2017年度～2019年度</li> <li>・永平寺町地域密着型サービス運営委員会 会長 2017年度～2019年度</li> <li>・永平寺町地域密着型サービス事業者選定委員会 会長 2017年度～2019年度</li> <li>・永平寺町健康づくり推進協議会 会長 2017年度～2019年度</li> <li>・永平寺町保健計画策定委員会 会長 2017年度～2019年度</li> <li>・鯖江市健康づくり推進協議会 委員 2017年度～2019年度</li> <li>・福井県介護保険審査委員会 委員 2017年度～2019年度</li> </ul>
②国・地方公共団体等の調査受託等
③（公益性の強い）NPO・NGO法人への参加
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人まちかど保健室 you（2017年度～2019年度）</li> </ul>
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等

⑥その他
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
① 公開講座・オープンカレッジの開講
② 社会人・高校生向けの講座 ・福井県立敦賀高等学校 進路探究講座 (2018年度)
③ その他
(3)その他 (個人の資格で参加している社会活動等)

6. 大学の管理・運営

(1)役職 (副学長、部局長、学科長)
(2)委員会・チーム活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学科カリキュラム検討委員会 委員長：2017年度～2019年度</li> <li>・カリキュラム検討プロジェクトチーム 委員長：2017年度～2019年度</li> <li>・看護学科入試制度検討WG：2017年度～2019年度</li> <li>・福井県立大学研究等における人権擁護・倫理委員会 副委員長：2019年度</li> <li>・看護学科倫理小委員会 委員長：2019年度</li> <li>・看護福祉学研究科看護学専攻修士論文委員：2017年度</li> <li>・学部研究費審査委員：2018年度～2019年度</li> <li>・親睦係：2017年度～2018年度</li> </ul>
(3)学内行事への参加
オープンキャンパス 2018 看護福祉学部看護学科の企画
(4)その他、自発的活動など